

「地域課題分野」(平成23年度採択)

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
大和川水系における糞便性大腸菌群の挙動 (研究期間：H23年～H25年)	京都大学 講師 松井 康人	A
<研究概要> 大和川における糞便性大腸菌群数の挙動を実用的な精度でシミュレーションできるモデルを開発した。このモデルを用いて、糞便性大腸菌群数を効果的に削減するための対策と、その効果の推定結果を示した。また、DNAの解析によって、大腸菌の起源を従来の手法よりも高い同定率で決定できる方法を開発した。その結果、ヒト起源が最も大きな割合を占めていることなどが明らかとなった。		
<事後評価コメント> 流域を対象とした河川水中の糞便性大腸菌群数を推定する数値シミュレーション法の開発により、施策のアセスが可能となったことは評価できる。また、DNA解析による大腸菌の起源推定結果の利用可能性は極めて高い。 DNA解析による起源推定法を流域の数値シミュレーションにフィードバックすることにより、糞便性大腸菌群数の流出機構の解明と流域管理に向けて、今後更なる研究の発展を期待する。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い